

剽窃と出版倫理 — 論文著者が知っておくべきポイント 2022年4月28日(木) | 午後 6:00～7:15

剽窃は、論文不正の中でも頻繁に見られる行為のひとつで、しばしば論文の撤回や研究者としての信用の失墜など深刻な事態につながります。論文著者が故意に行う剽窃が悪質なのはもちろんですが、剽窃行為についての理解不足により意図せず起こる剽窃もあります。そのため特に経験の浅い研究者は、どのような行為が剽窃とみなされるか、それを避けるにはどうすればよいかを正しく知っておく必要があります。このウェビナーでは、剽窃を中心に出版倫理に関する諸問題を取り上げ、併せて論文の執筆時に留意すべき点についての実践的なアドバイスを提供します。

ウェビナーご参加は事前登録が必要です。下記からご登録ください
<https://bit.ly/wileyresearcherworkshop4>



QRコードをスキャンして
事前登録ができます。

登壇者：



札野 順氏

2020年4月から早稲田大学大学総合研究センター教授を務める。専門分野は、科学技術倫理、科学技術史、科学技術社会論、Positive Psychology, Positive Education。

1980年国際基督教大学教養学部理学科物理学専攻卒業、1990年オクラホマ大学大学院科学史研究科博士課程修了(Ph.D.)、同年金沢工業大学助教授就任。1994年金沢工業大学教授就任、2015年東京工業大学大学マネジメントセンター教授就任。現、早稲田大学大学総合研究センター教授。



富田 洋介氏

リハビリテーション、神経科学、バイオメカニクスの分野で10年以上の学術研究と臨床経験があり、これまで著名な学術誌にて複数の研究論文を発表。研究者・臨床家としての経験をもとに、臨床と研究エビデンスのギャップを埋めるためのナレッジ・トランスレーションに取り組む。理学療法士、高崎健康福祉大学講師。



岩崎 治郎

出版社Wileyの日本法人で、10年以上にわたりマーケティングを担当。Wileyの出版物・サービスの認知度を高める活動を行う傍ら、Wiley製品の利用者講習会の講師を数多く務めてきた。現職はワイリー・パブリッシング・ジャパン カスタマーサクセス・マネージャー。